

平成27年3月10日
九州地方整備局
佐伯河川国道事務所

東九州自動車道(佐伯IC～蒲江IC間)が 3月21日(土)17時に開通します！！

～大分と宮崎に高速交通軸が誕生～

■開通日時(一般開放)

：平成27年3月21日(土) 17時00分

【参考】

■開通式典

日 時：平成27年3月21日(土) 12時00分

会 場：佐伯市総合体育館(佐伯市大字長谷2614番地)

※報道関係者の皆様へ

当日の取材については、事前に別添の「送信票」の送付をお願いします。

駐車券が必要な場合は、事前に駐車券を送付致します。

今回の開通により期待される効果

大分と宮崎の間が身近になり地域産業を支援します。

- ・沿線地域の魅力ある観光地への新たな周遊が期待！
- ・佐伯の水産物や宮崎の農畜産物が日本の食を支えます！
- ・沿線地域への企業立地が進むなど、民間投資の活発化が期待！

災害時には「命の道」として機能します。

<問い合わせ先>



国土交通省 九州地方整備局

TEL：092-471-6331 (代表)

道路部 道路計画第一課長

にしのはら まさし
西ノ原 真志 (内線：4211)

国土交通省 九州地方整備局 佐伯河川国道事務所

TEL：0972-22-1880 (代表)

技術副所長

あさ い ひろ み
浅井 博海 (内線：205)

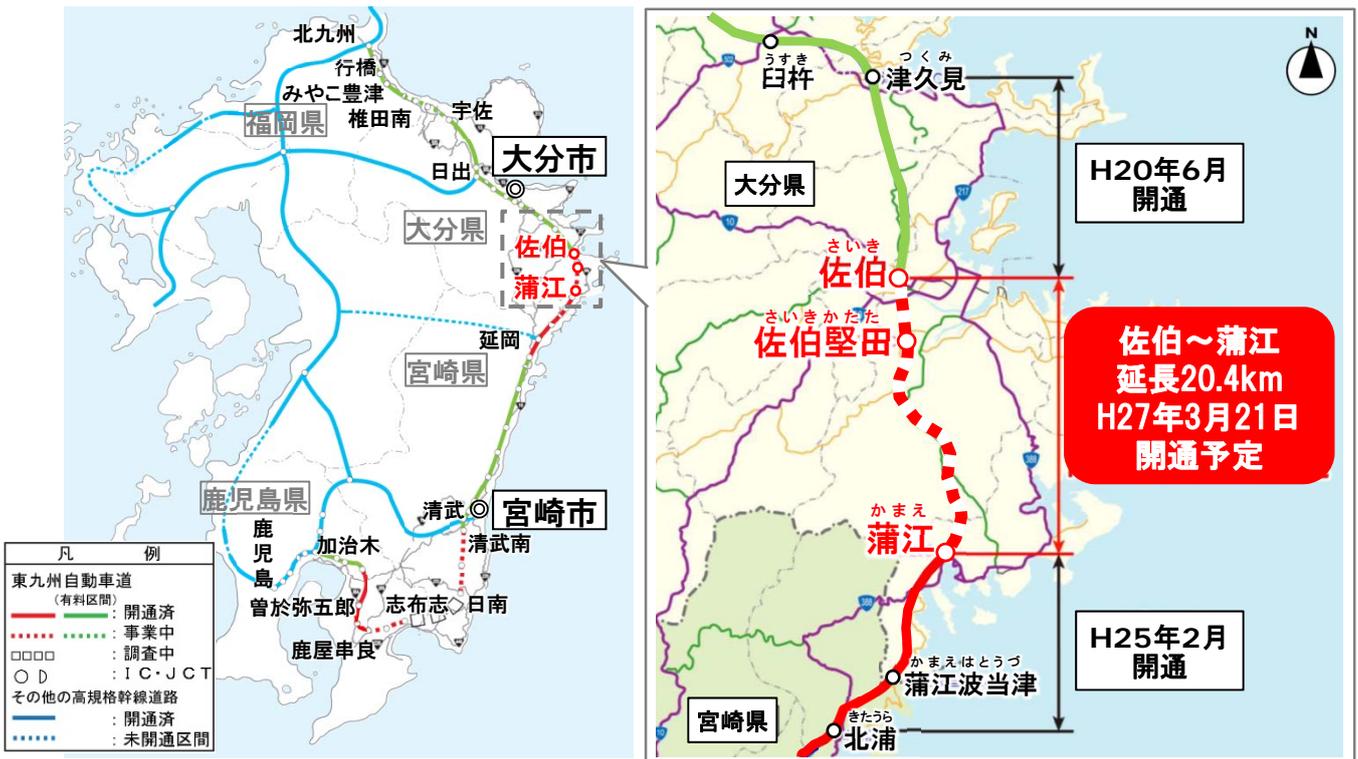
さいき かまえ 開通区間(佐伯～蒲江間)の概要

さいき かまえ
今回開通する佐伯～蒲江間を含めた「東九州自動車道」は、九州東部の広域的な連携を図ることで、物流の効率化や地域の活性化等を支援するとともに、災害時における代替路としての機能を有しています。

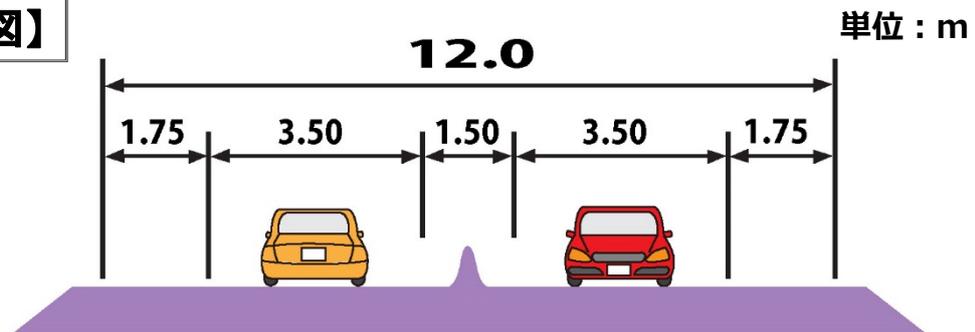
さいき かまえ 今回開通区間 東九州自動車道(佐伯～蒲江間)の概要

- 区 間:(自)大分県佐伯市大字上岡～(至)蒲江大字森崎浦
- 延 長:20.4km
- 車線数:2車線

【位置図】



【標準横断図】



大分市から宮崎市間の所要時間が短縮します

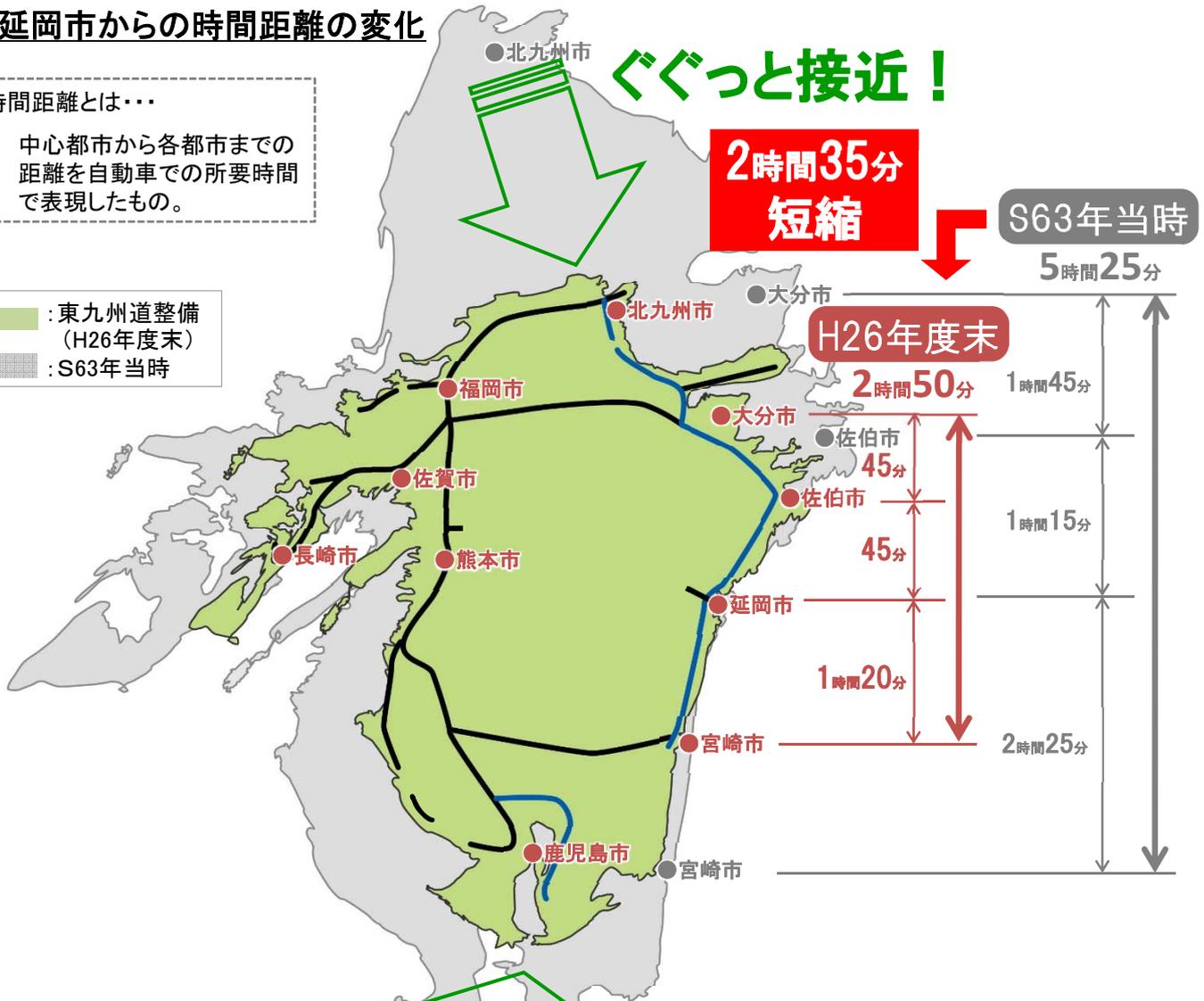
○ 大分市から宮崎市間が、東九州道未整備時に比べ**約半分の時間**に
 (未整備:5時間25分⇒開通後:2時間50分 **2時間35分短縮**)

▼延岡市からの時間距離の変化

時間距離とは・・・

中心都市から各都市までの距離を自動車での所要時間で表現したもの。

■ : 東九州道整備 (H26年度末)
 ■ : S63年当時



注) 所要時間は、大分市役所から宮崎市役所間で算出。
 中間位置の佐伯・延岡はICまでの所要時間で整理。
 集計データは下記注1、注2のとおり。

ぐぐっと接近!

▼大分市から宮崎市間の所要時間の変化

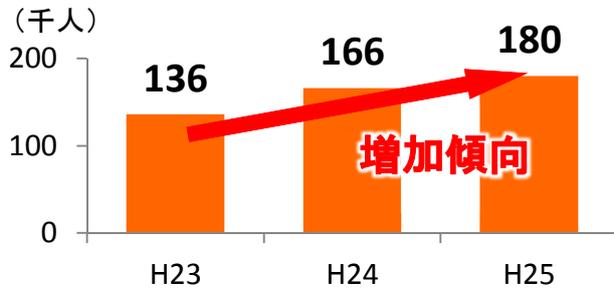
		所要時間			
		未整備 (S63) 【国道10号経由】	開通前 (H25年度末)	今回開通後 (H26年度末)	
大分市	～	宮崎市	5時間25分	3時間10分	2時間50分



注1) 未整備時(S63)の所要時間は、昭和63年道路交通センサス混雑時旅行速度データより算出。

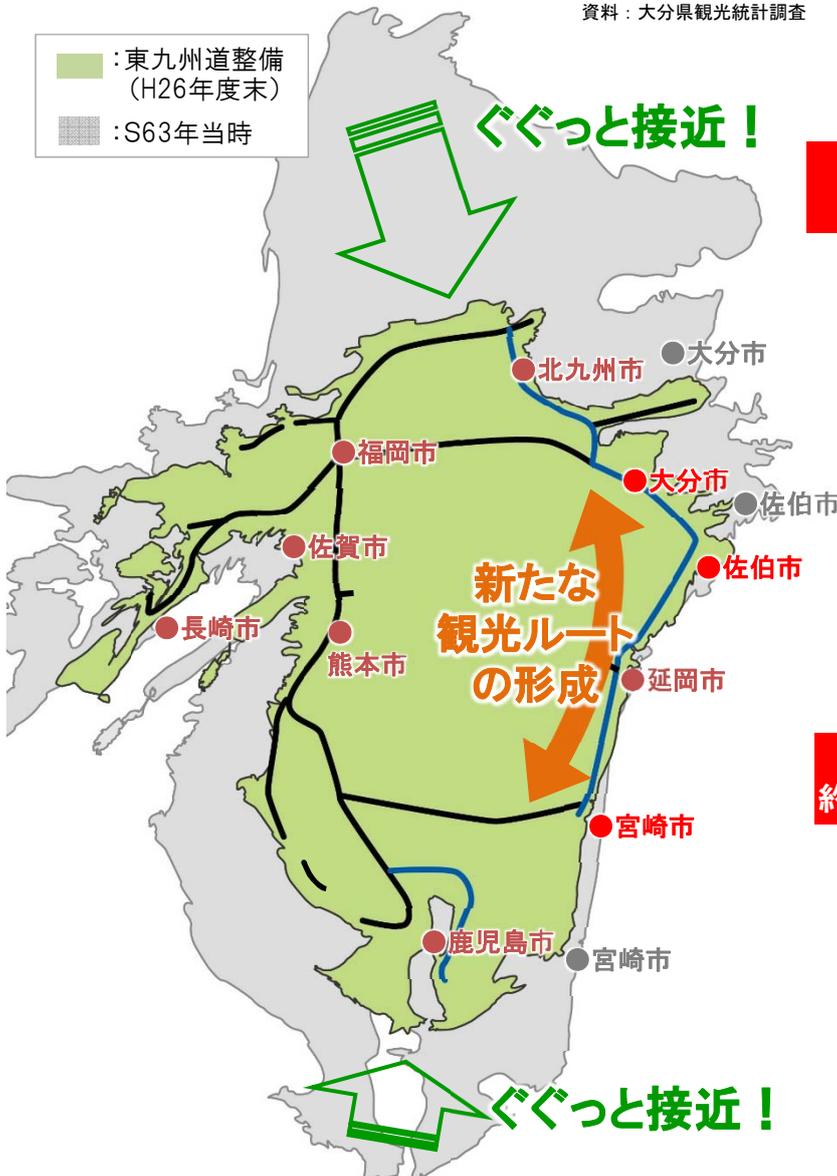
注2) 開通前・今回開通後の所要時間は、H26年4月～10月のプローブデータの平日・混雑時平均旅行速度より算出。
 東九州道の既存区間は上記期間のプローブデータで算出。新設開通区間は指定最高速度(想定)より算出。

- 今回の開通により、魅力ある観光地間の所要時間が短くなり、増加傾向にある大分県別府市の外国人宿泊観光客などが佐伯や宮崎まで足を延ばしやすくなります。
- 東九州沿線地域の魅力を一度に味わえる新たな観光ルートの形成が期待されます。



▲別府市の外国人宿泊客数

資料：大分県観光統計調査



▲延岡市からの時間距離の変化

※所要時間は、大分市役所から佐伯IC、佐伯ICから宮崎市役所間の時間を整理
短縮時間は未整備時(S63年当時)から開通後(H26年度末)の時間差

【別府温泉(大分県別府市)】



源泉数・湧出量-日本1位

大分市～佐伯市
約1時間短縮※



【波当津海岸(大分県佐伯市)】



日本の白砂青松100選

佐伯市～宮崎市
約1時間35分短縮※



【青島(宮崎県宮崎市)】



特別天然記念物(国指定)
快水浴場百選(環境省)の1つ

- 東九州沿線地域は農水産品が豊かで、大分県佐伯市の養殖ヒラメ、宮崎県のきゅうりやピーマン等が全国1位の出荷・生産量を誇っており、日本の「食」を支えています。
- 東九州道の整備により、新たな輸送ルートが形成され、更なる商品価値の向上、生産額の拡大が期待されます。

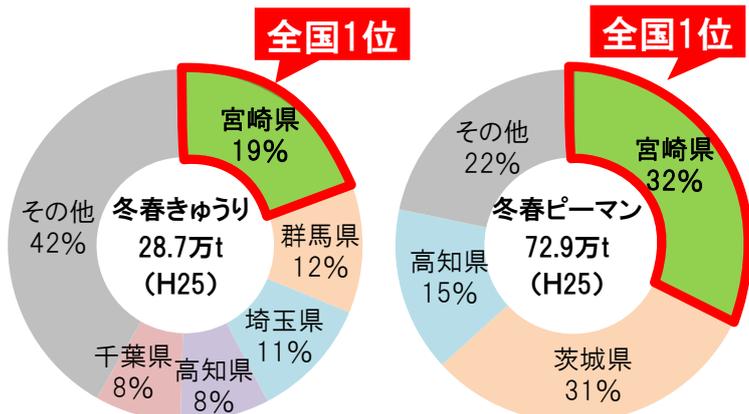
東九州沿線地域は有数の食料基地



資料: 作物統計調査 (H25)、海面漁業生産統計調査 (H24)、特用林産物生産統計調査 (H25)、畜産統計調査 (H25)

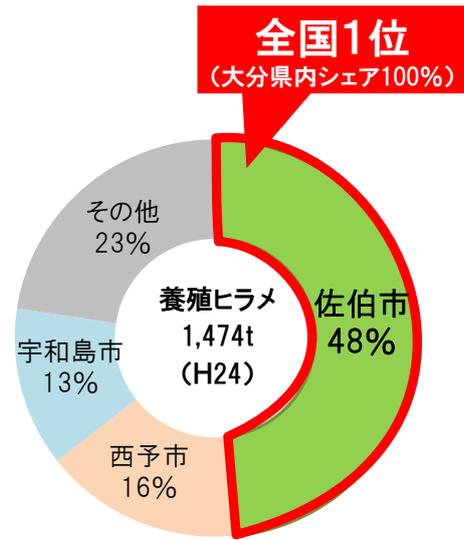
▲大分・宮崎・鹿児島県産の主要農水産品全国順位

宮崎県の農作物

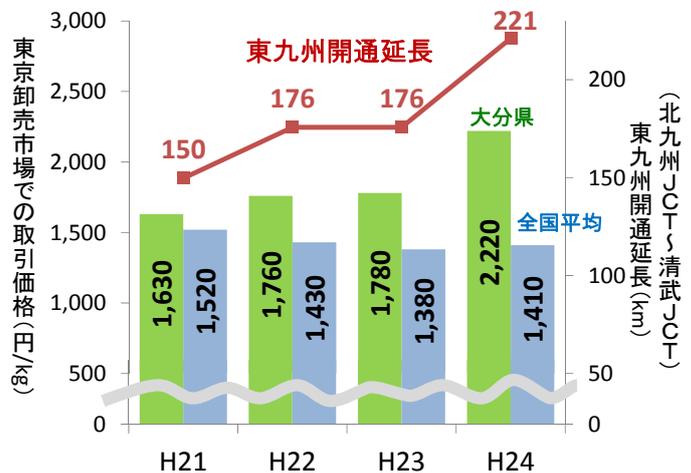


資料: 作物統計調査

大分県の養殖業



▲市町村別養殖ヒラメの収穫量



▲東京卸売市場での大分県産ヒラメの取引価格

大分県の養殖漁業生産額
 約180億円(H21)
 ↓
 約220億円(H24)
 (約1.2倍・40億円増)

資料: 海面漁業生産統計調査、東京卸売市場、漁業生産額

- 大分県佐伯市では、東九州道の延伸に伴い企業立地が進み、過去5年間で19企業が進出、それにより設備費など約70億円が投資され、有効求人倍率が5年間で1.4倍と向上しています。
- 今回の開通により、大分県内の東九州道が全線開通するとともに、宮崎市とつながることで、更なる企業立地の促進や雇用創出といった民間投資が活発化することが期待されます。

佐伯市の企業立地の分布状況

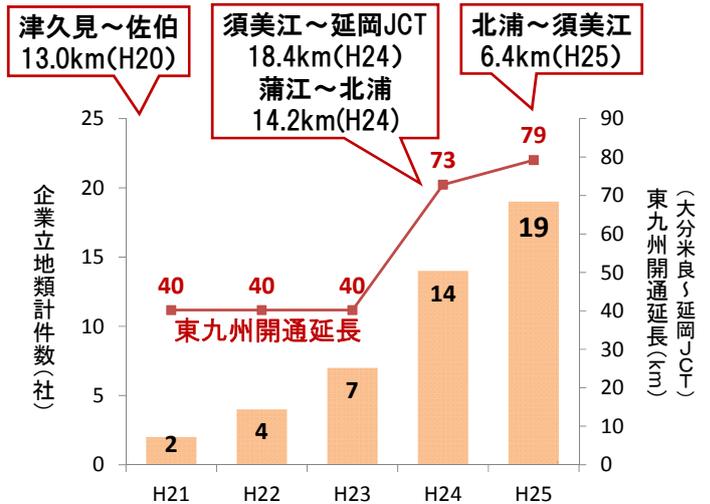
東九州道の延伸に伴って、佐伯市に企業立地が進んでいます。



▲佐伯市の企業立地分布状況

資料:佐伯市資料

佐伯市の企業立地の進展



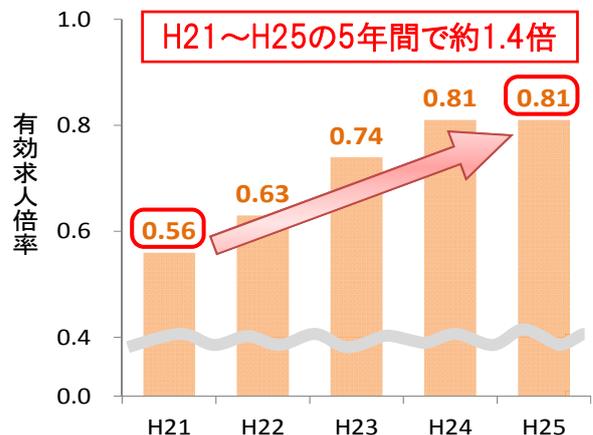
▲佐伯市の企業立地件数

設備費などの投資額(H21~H25)
約70億円

新規雇用者数(H21~H25)
約230人

資料:佐伯市資料

佐伯市の有効求人倍率の向上

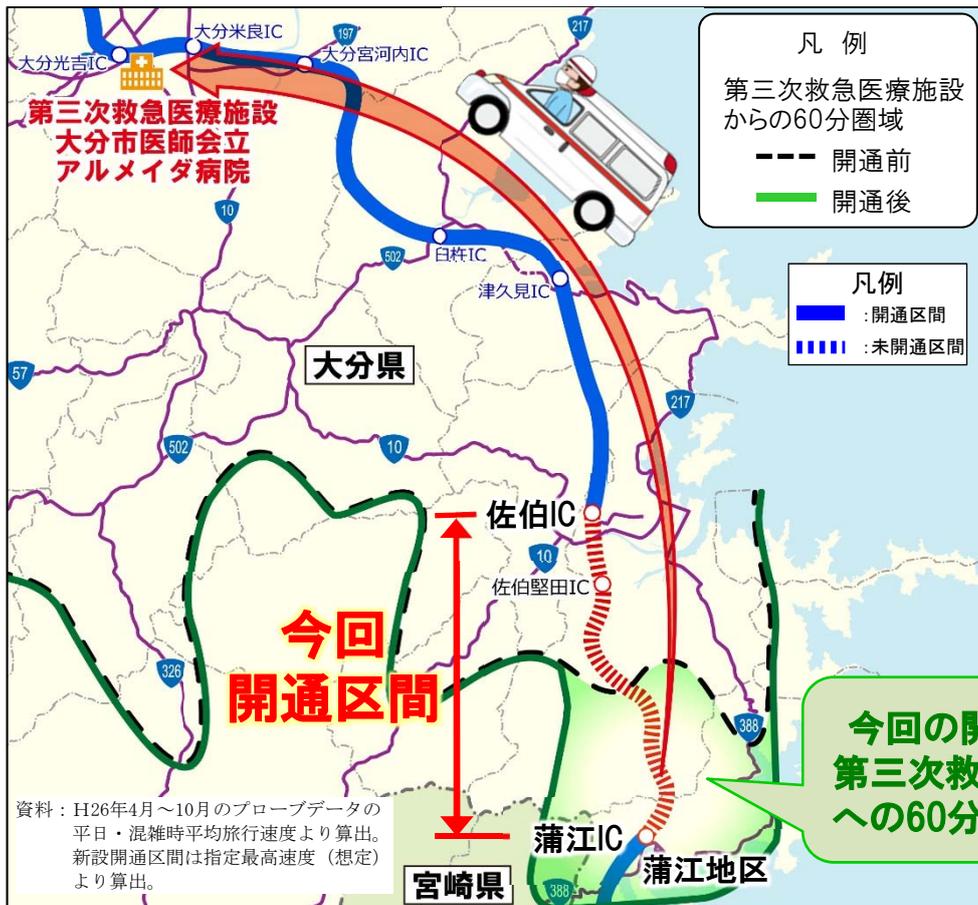


▲佐伯市の有効求人倍率

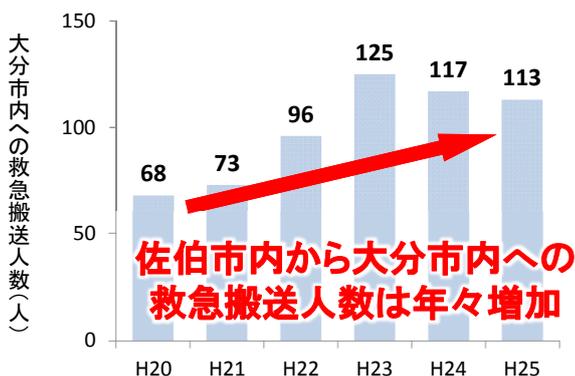
資料:厚生労働省職業安定局、大分労働局資料

- 佐伯市内には、第三次救急医療施設がないため、重篤患者は大分市内の医療施設まで搬送されています(年間100人以上が佐伯市内から大分市内へ救急搬送)。
- 今回の開通により、第三次救急医療施設60分カバー人口が約7千人増加するなど、地域の救急医療活動を支援します。

蒲江地区：第三次救急医療施設まで
 <現状> 所要時間 約75分 → <開通後> 約50分



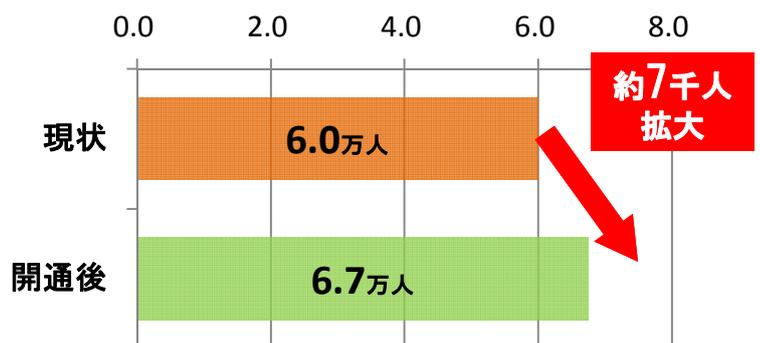
年間100人以上を救急搬送



▲佐伯市内から大分市内への救急搬送人数

資料：佐伯市消防本部ヒアリング結果 (H27. 1)

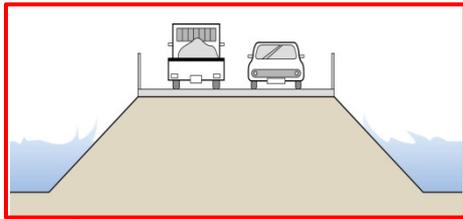
佐伯市の医療60分カバー人口の拡大



資料：人口はH26. 10時点の住民基本台帳より
 時間はH22民間プローブデータ等より

- 南海トラフの巨大地震によって、九州東部沿岸は最大高さ17mの津波により甚大な被害が想定されています。
- 東九州道は避難機能を有しており、沿線地域の安全を守るとともに、九州各方面からの支援を受ける「命の道」として期待されます。

浸水しない東九州道



▼蒲江地区の津波浸水想定区域



津波浸水想定区域

東九州道に避難施設を整備



▲避難施設の設置状況(H27.1現在)

資料：予想津波高、想定死者数は
 H24.8 内閣府 南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等
 (第二次報告)及び被害想定(第一次報告)
 H25.3 内閣府 南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)より

各方面からの支援ルートイメージ

- ・九州東岸の予想津波高は最大17m
- ・大分・宮崎・鹿児島の東九州沿線の想定死者数は最大約6万人。



▲東九州における南海トラフ地震の予想津波高さと支援ルートイメージ

(参考) 開通式典について

■開通式典

日時：平成27年3月21日(土) 12時00分

会場：佐伯市総合体育館(佐伯市大字長谷2614番地)

※式典に引き続き、開通行事(テープカット等)を隣接する佐伯堅田ICで行います。

主催：国土交通省九州地方整備局、大分県、佐伯市

※報道関係者の皆様へ

- ・当日の取材及び撮影は可能です。式典会場においては係員の指示に従い下さい。
- ・テープカットの取材は、式典会場より係員の指示に従い、車にて移動願います。

今回の開通区間は無料で通行できる自動車専用道路です。

式典会場 案内図

